ホンジュラス定期報告（２０１６年９月）

２０１６年１０月

在ホンジュラス日本大使館

１　内政

1. 大統領選挙関連
	1. １日，ホンジュラス対汚職・無処罰支援ミッション（ＭＡＣＣＩＨ）は，市民社会に対し，政党・候補者に対する資金調達・透明性・監査に係る法案，別名，クリーン政治法案（Ley de Politica Limpia）の概要を発表。同法案は，ＭＡＣＣＩＨ，国会選挙委員会，最高選挙裁判所（ＴＳＥ），各政党等が協働して仕上げたもの。予備選挙告示前の同法案の国会承認は実現されなかったが，ＭＡＣＣＩＨは国会に対し同法案の早期可決を呼びかけている。
	2. ９日，ＴＳＥは，Va Movimiento Solidario(Vamos)を新政党として承認。
	3. １１日，ＴＳＥは約５万７千人のホンジュラス人有権者に対して，翌年３月１２日に実施予定の予備選挙告示を実施。
	4. ２０日，２１日，オリバ国会議長は，選挙制度改革に関する政党間のコンセンサスを得るための対話を設け，国民党，リブレ党，自由党，ＰＡＣをはじめとする７政党から，決選投票・大統領再選の規則化等を含む選挙制度改革に関する提案を受領し，１１月上旬には何らかの合意を模索する旨公言した。
2. 野党の動き
	1. 自由党：１日，ルイス・セラヤ中米工科大学学長は，大統領予備選挙へ出馬するため辞任を表明。同日，ガブリエラ・ヌニェス国会議員は，予備選挙への出馬を表明。７日，カロリナ・エチェベリア元国会議員は，大統領選出馬表明。
	2. リブレ党：１５日，リブレ党は，全国国民抵抗戦線（ＦＮＲＰ）と共に，テグシガルパ市・サンペドロスーラ市にて，エルナンデス大統領再選反対のデモ行進を実施。２９日，ＦＮＲＰの創始メンバーであるホセ・ルイス・バケダノは，セラヤ党首を批判し，リブレ党からの脱退を表明。
	3. ＰＡＣ：２３日，フォルティン国会議員はＰＡＣを脱退することを表明。２０１３年大統領選にてＰＡＣから当選した議員の内，１３名が脱退し，現在のＰＡＣ議員は９名のみ。ＰＡＣでは，本年２月の最高裁判事選出プロセスにおいて，国民党へ票を売り渡したとして，ナスララ党首がフォルティン議員を含む４名の同党議員を糾弾していた。
3. その他
	1. ２１日，ＰＡＣは，国会にて大麻（カンナビジオール）の医療目的での使用を発議。大麻（カンナビジオール）の医療目的での使用は，米大陸では，アルゼンチン・カナダ・チリ・コロンビア・ウルグアイの５カ国でのみ合法。米国では２３州にて条件付で合法。ホンジュラスでは，てんかん患者が２５万人いるとされるが，カンナビジオールの使用により病状が改善される可能性がある。
	2. ２２日付エル・エラルド紙は，政府シビックセンターの設立のため，１０月末には現大統領府が一時的に現外務・国際協力省の建物へ移動，外務・国際協力省は一時的に中央銀行別館へ移動する旨報道。現外務・国際協力省は，９０年台にカジェハス大統領（当時）が大統領府として開設した建物であるが，フローレス大統領（当時）政権下で，大統領府が現在の建物へ移動した後，外務省として使用されている。シビックセンターの設立は，２億米ドルの予算で，１０月より３段階に分けて工事が実施され，２年間かかる見込み。

２　外交

1. １日，アグエロ外相代行及びモラレス・グアテマラ外相は，両国をまたぎ，汚染問題を抱えるオモア湾を共同視察し，同問題の解決に向けた協力・対話を続けることに合意。
2. １日，中米北部３カ国外遊中のサルダニャ米移民・関税執行局 (ＩＣＥ)局長は，ホンジュラスにてアナ大統領夫人と会談し，不法移民の流れを止めるべくホンジュラスへの支援を継続する旨発言。
3. ２日，エルナンデス大統領は，貿易・経済関係強化を目的とし，ケイマン諸島を訪問し，マクラフリン首相等と会談。同地にホンジュラス領事館を開設する必要性に関しても協議。
4. ３日，当国外務・国際協力省は，２日，フィリピン・ダバオシティにて１４人が死亡，７１名が負傷したテロを非難する旨の声明を発出。
5. ５日，当国外務・国際協力省は，同日，北朝鮮が弾道ミサイルを発射したことを非難する旨の声明を発出。
6. ７日，エルナンデス大統領は墨グアダラハラを訪問し，１００社以上の企業を対象としたエキスポにて，２０／２０プログラムを紹介。
7. ９日，当国外務・国際協力省は，同日，北朝鮮が核実験実施したことを断固非難する旨の声明を発出。
8. １９日，マタモロス外務次官は，ニューヨーク国連本部で開催された難民・移民の大規模移動に関するハイレベル会合に出席。
9. ２１日，エルナンデス大統領は，第７１回国連総会にて一般討論演説を実施。エルナンデス大統領は，同総会にてパリ協定批准書を寄託（ホンジュラスは５番目の寄託国）し，同協定を締結した。
10. ２３日，エルナンデス大統領は，エルサルバドル大統領，グアテマラ大統領と共に，ワシントンにて，バイデン米国副大統領及びモレノＩＤＢ総裁と，中米北部３カ国の繁栄のための同盟計画（ＰＡＰ）に関する対話を実施。
11. ２６日，当国外務・国際協力省は，コロンビア政府とＦＡＲＣ（コロンビア革命軍）との和平最終合意署名に関する祝意表明のコミュニケを発出。
12. ２８日，当国外務・国際協力省は，シモン・ペレス前イスラエル大統領の逝去に対する弔意表明のコミュニケを発出。

３　経済

1. ６日付エル・エラルド紙は，今年１月から８月３１日までの税収額は，２，４１０百万米ドルであると，大統領府税務委員会（ＣＰＡＴ）が発表した旨報じる。前年同期比１５．３％の増加。見積もり額（２，３３５百万米ドル）をも超過したため，２０１６年度の税収額は，３，７９４百万米ドルに上方修正された。
2. ８日，財務省は計８．８百万米ドルの国債を発行。その内訳は，約４．７百万米ドルが固定３年で利率７．８７％，約０．４百万米ドルが固定５年で利率９％，約３．７米ドルが固定１０年で利率１０．４２％。
3. ９日，ホンジュラスの航空会社Easy Skyは，テグシガルパとメキシコ（カンクン、トルカ）間の直行便を運航開始。
4. １４日，行政府は財務省を通し，２０１７年度予算案を国会へ提出。予算案は２２８７億７８０４万６９８１レンピーラ（約１０４億米ドル），対本年度予算６．４％の増加。２０１７年度予算が本年度と比べ増加した主な省は，教育省及び治安省であり，一方，保健省は予算削減された。他方，歳入の主な内訳は，４，０９５．９百万米ドルが税収，８８５百万米ドルが国債発行，５６１百万米ドルが長期貸付金，１８３百万米ドルが外国政府及び国際機関からの援助である。
5. １５日，中銀は政策金利５．５％の維持を決定。
6. １９日，労働・社会保障大臣は，国内全ての公務員約８．５万人の給料が，９月分から８００レンピーラ増額される旨発表した。
7. ２０日，国家電力公社（ＥＮＥＥ）幹部は，第３四半期の電気料金見直しにて，料金を変更しない旨発表した。
8. ２５日ラ・プレンサ紙は，２０１６年前期における国外からの直接投資額が６５２．６百万米ドルに上り，前年同期比１６％の増加であるとの中銀の発表を報じる。
9. ２６日付ラ・プレンサ紙は，世界経済フォーラムが発表した国際競争力ランキングにて，ホンジュラスは昨年の１００位からランクを１２上げ，２０１６年は８８位を記録した旨報じる。
10. ２６～３０日，韓国・中米自由貿易協定の締結へ向けた６回目の交渉がマナグア（ニカラグア）にて実施された。
11. ３０日付ラ・トリブナ紙は，２０１６年前期の公的債務は，９，３２６．９百万米ドル（対ＧＤＰ比４６．２％）であり，後期には４８．１％にまで増加するという中米財政問題研究所（Ｉｃｅｆｉ）の見方を報じた。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ◇主要経済指標◇ | **2016年** | **2015年** | **2014年** |
| **9月** | **8月** | **7月** | **6月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 2.90% | 2.51% | 2.40% | 2.45% | 2.36% | 5.80% |
| **貿易収支（百万ドル）** | 未発表 | ― | ― | △525.6 | △3,056.3 | △2,997.5 |
| **輸出（百万ドル）** | 未発表 | ― | ― | 2,166.4 | 8,040.7 | 8,072.2 |
| **輸入（百万ドル）** | 未発表 | ― | ― | 2,692.0 | 11,097.0 | 11,069.7 |
| **外貨準備高 （百万ドル）** | 3,706.4 | 3,776.7 | 3,845.3 | 3,955.6 | 3,822.3 | 3,516.5 |
| **外国からの送金 （百万ドル）** | 未発表 | ― | ― | 985.6 | 3,649.8 | 3,353.2 |
| **為替レート （対ドル月平均）** | 23.13 | 23.05 | 23.00 | 22.90 | 22.10 | 21.13 |

＜出典：ホンジュラス中央銀行＞ ※貿易収支，輸出，輸入，外国からの送金は，四半期毎に発表

(了)